

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 147

事務事業名	歯・口腔の健康づくり事業(旧:歯科健診事業)
-------	------------------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	国保けんこう課		
課長名	松永 龍二	内線	115
担当者名	中山 恵美子	内線	152

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020101	健康づくりの推進と医療体制の充実
施策		健康づくりの推進
関連施策		

会計	一般会計	
款	04	衛生費
項	01	保健衛生費
目	03	健康増進費
事業コード	020402	歯科検診事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画	健康おおむら21計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	大村市民		
誰(何)に対して事業を行うか			
意図	歯科健診及び指導の実施により、市民の口腔内健康意識の向上を図る。		
対象をどのような状態にしたいか			
事業概要	歯周疾患検診は、対象者を保険資格を問わず、定員を設けずに実施する内容とする。 また、特に若年層の口腔内健康意識向上となるよう、イベント開催時に簡易な口腔保健質問調査を実施し、調査結果の分析を説明したうえで、生活習慣を改善することを目標に口腔内のケア指導や相談を実施する。		
意図を達成するために実施することは何か			
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 年度	実施方法	委託
根拠法令、要綱等	大村市歯科保健計画		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 歯周疾患検診受診者数	計画値	200	200	150	150	
		実績値	127	155	135		
	達成度	%	63.5%	77.5%	90.0%		
	② 口腔保健質問調査実施者数	計画値	200	200	200	200	
実績値		160	159	159			
達成度	%	80.0%	79.5%	79.5%			
成果指標	① 要精密検査受診率	計画値	50.0	50.0	50.0	50.0	
		実績値	23.0	36.8	27.0		
	達成度	%	46.0%	73.5%	54.0%		
	② 指導を受けて生活習慣を変えた人の割合	計画値	100.0	100.0	100.0	100.0	
		実績値	65.0	56.1	75.0		
	達成度	%	65.0%	56.1%	75.0%		
生活習慣を変えた人数/指導を受けた人数	達成度	%	65.0%	56.1%	75.0%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	873	998	1,429	973	1,478	1,478	1,478	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他			490					
一般財源	873	998	939	973	1,478	1,478	1,478	
② 人件費(千円)	1,196	2,438	2,216	3,066	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.15	0.32	0.31	0.41	歯周疾患検診、成人歯科検診	歯周疾患検診、成人歯科検診	歯周疾患検診、成人歯科検診	
時間外勤務(時間)	2	10	15	42				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	2,069	3,436	3,645	4,039				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	口腔保健質問調査票による新しい成人歯科検診をお口の健康フェスティバルにおいて行った。 歯・口腔の健康づくりのための啓発の場として、お口の健康フェスティバル実行委員会が実施してきたイベントの場を活用して、さらに啓発を強化できた。歯周疾患検診については、受診者数がH26年より減少している。
事業が抱える問題・課題等	お口の健康フェスティバル等イベントの場を活用して市民の口腔内健康意識の向上に努めているが、その効果を検証するまでに至っていない。また、歯周疾患検診の受診者数が減少する等お口の健康づくり啓発が充分でない。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	近年、歯周病が全身疾患に悪影響を与えることが明らかになってきており、市民の口腔内健康意識の向上は非常に重要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	口腔内健康に対する市民の意識高揚については、市が主体的に取り組む必要がある。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	お口の健康フェスティバル等で、歯・口腔の健康づくりについて知識の普及を行うことや多くの市民が歯科健診と指導を受けることで、市民の口腔内健康意識の向上がはかれることから事業成果は高い。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	口腔内検診と指導を受けることで、自らの口腔内状況を把握し、歯の健康について正しい知識を得ることができ、市民の健康づくりを推進する効果が期待できる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	診療点数による検診単価よりも低く設定しているため、これ以上の削減は難しい。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	歯科健診受診者を今まで以上に増やす必要があることから、受診者の負担についてはできるだけ少なく設定しており、見直しの余地なし。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	歯・口腔の健康づくりを推進するため、歯・口腔の健康づくりの情報発信や検診・体験型イベントを実施し、お口の健康フェスティバル等を活用し啓発を強化していく。平成27年11月に第2次歯科保健計画を策定した。この計画に基づき、さらに虫歯・口腔の健康づくりを推進するための啓発を強化していく必要がある。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。